

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090601-07-00
基本事業：	02	家庭・地域の教育力を高める教育活動の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	地域活動・学習活動に参加している市民の割合 ボランティアバンクの活動者数（延べ人員） ボランティアバンクの活動者数（実人員）		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	昭和47年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
地域婦人会及び地域婦人会会員			女性団体として自立・自己改革を目指すリーダー養成・リーダー研修会等を行っている地域婦人会に対して、運営補助として補助金を交付する。 【補助金交付の流れ】 申請書提出 申請内容確認 補助金交付 実績報告 【活動内容】 会員の資質や能力が向上するよう「リーダー研修」等を実施する一方で、以下の講座等の活動を行っている。 （市民大学講座, 市民講座, 青少年健全育成支援事業, 等）							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			4. 成果（簡易評価は未記入）							
地域婦人会の活動を支援することにより、女性の社会参加が促され、女性の地域への進出が活発化することにより、まちづくりの推進に貢献する。										
成果指標名称			単位	29年度	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度	目標
				実績	実績	当初	要求	計画	計画	
会員数			人	300	205	330	330			400
研修参加者数			人	59	27	90	90			100
5. コスト										
事業費			計	千円	495	495	495	495		
			国	千円	0		0	0		
			県	千円	0		0	0		
			地方債	千円	0		0	0		
			その他	千円	0		0	0		
一般			千円	495	495	495	495			
正職員人工数			人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費			千円	800	809	807				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)			千円	1,295	1,304	1,302	495			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている			市の行事への積極的参加などがなされているが、会員の高齢化により、事業の拡大が出来にくくなっている。							
どちらかといえばあがっている										
あがっていない（停滞・低下）										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり	類似事業として、「市民（旧女性）大学講座補助金」等の地域婦人会を支援する事業があるが、それぞれその目的別に補助金を拠出しているため、それぞれの補助金の成果について検証していく必要がある。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり							
成果向上余地	大きい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）										
改善方向性						維持	見直し	廃止	事業終了	
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
地域婦人会関連の補助金の総合的な見直しに向けて、引き続き地域婦人会との協議を継続していく。						明瞭な会計処理、総合的な見直しに向けて地域婦人会の規約の整理を行うよう指導を行っていく。				
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）										
備考・特記事項 or 進行管理欄										
女性が自発的な学習意欲に基づき、豊かな人間性を培うと共に、その資質や能力を向上させる為に行う各種の学習を高める活動を昭和47年の筑紫野市中央公民館開館に併せて活動が始まった。										